

【専大スポーツ】<https://www.senshu-u.ac.jp/sports/>

専大スポーツ

No. 456

専大スポーツ
編集部
公式WEB

掲載記事を含む全文はコチラ↑

X @sensuponow
Instagram sensuponow

レース序盤は集団走でペースを維持

撮影||高野葵葉(文3)

目標を上回る21位と健闘した新井

撮影||河上



昨年18位から飛躍 目指すはシード権

東京箱根間往復大学駅伝競走予選会10月19日、東京都・立川市

総合2位で突破し、101回大会(2025年1月2、3日)への出場を決めた陸上競技部。予選会では100位以内に

5人が入るなど、18位に沈んだ昨年の予選会から大きな飛躍を遂げた。

初のハーフマラソンに挑んだマイナ・ダンカン・ガツクミは「ちょっとキツかった」と話すも苦にしない様子で、「最低でも本戦の出場権を獲得するために、辛い練習をして準備した」と振り返った。

新井友裕と上山詩樹は上位陣に引けを取らない走りを見せた。新井は「2人で40番に入る目標があった」と宣言実行。長谷川淳監督も「30〜70番目を想定していた中で、しっかりと目標を達成し、本当によくやってくれた」と賛辞を惜しまない。

創部100周年を迎え、「革新と挑戦 Break Through」をスローガンに掲げる。伝統を継承しながらも革新に挑み、本戦では18年ぶりのシード権獲得を目指す。

(河上明来海・文4)

ラストパートをかけるマイナ
撮影||竹田一爽(文3)

順位	選手名	学部学年	出身校	時間
3	マイナ・ダンカン・ガツクミ	商 1	専大熊本玉名高	1:01:47
21	新井 友裕	文 3	浦和実業学園高	1:04:22
26	上山 詩樹	経済2	敦賀気比高	1:04:32
89	具志堅一斗	経営2	コザ高	1:05:44
92	大田和一斗	文 4	東農大第二高	1:05:47
105	和田 晴之	経営2	三浦学苑高	1:05:55
117	佐藤 陸	文 2	東京高	1:06:03
128	長谷川 源	経営4	名経大高蔵高	1:06:17
129	藁科 健斗	経営3	横浜高	1:06:17
170	手塚 太一	経営3	那須拓陽高	1:06:55
225	田口 萩太	文 1	東京高	1:07:43
286	福田 達也	経営3	橋高	1:09:04

予選会出場選手

全日本大学総合卓球選手権大会 女子S

出澤 連覇達成

女子D 出澤・首藤・ペアが3位



シングルス連覇を果たした出澤

戦チャレンジしようという気持ちで挑んだ。最後まで声をかけてくれた監督やコーチ、チームメイトに感謝している」と、いつも謙虚な姿勢を崩さない出澤。4年間の集大成を有終の美で飾った。

ダブルス準々決勝は、フルセットまで持ち込む惜敗。パートナーの木塚に対し、「短い期間だったが組んでくれたことに感謝している」と話した。シングルスでは、守備からの得点や試合中の戦術の切り替えなど、勝てるように練習してきた努力が結果。「大学最後の年に、人生初の全国大会シングルスベスト8という結果を残せて、自分なりに成長できた」と語った。

(中島胡春ネツト情報2、撮影||君嶋悠樹・経済1)

男子・単複 野田ベスト8

男子では、主将の野田颯太(文4・育英高)がシングルスと、木塚陽斗(文1・明豊高)とペアを組んだダブルスでも



健闘した野田

初大会の結果、個人・齋藤華南(経済4・秋田商高)は「優勝を目標に

が健闘 準優勝 3位

エペ
チーム
女子
男子

関東学生フェンシング選手権大会10月2〜16日、世田谷区・駒沢公園屋内球技場

トーナメント方式の団体戦が行われ、女子エペが準優勝、男子エペが3位の好成績を収めた。前年度王者として臨んだ女子エペは、準決勝で



準優勝を喜ぶ女子エペチーム

出場権を得た齋藤は「最後のインカレになるので、優勝できるように頑張りたい」と次戦を見据えた。

男子エペは準決勝で日大に惜敗したものの、3位決定戦では中大に45-34と圧勝した。副将の吉成海之亮(法4・栃木商高)は「1年次生が得点源となる場面も多々あり、安定したプレーができた」と振り返った。最後のインカレが控える中、「チームの連携と技術力の向上を図り、優勝を目指したい」と意気込む。

(竹田)